

# NMMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.110  
2023年1月号  
TAKE FREE

ご自由にお取り下さい



▲ 巻頭言	新年のご挨拶 名古屋医療センター院長 長谷川好規	2p
▲ ドクターよもやま話	ブルーサークルとバタフライリボン 糖尿病・内分泌内科医長 山家由子	3p
▲ 職場紹介	東7階病棟／臨床検査科	4p
▲ トピックス	災害訓練を実施しました 災害対策室長 吉野 能	5p
▲ 医療最前線	「血管の内側」から病気を治す治療法 脳神経外科医師 伊藤真史	6p
▲ 連携医療機関紹介	悠々整形在宅クリニック	7p



# 巻頭言



長谷川好規  
名古屋医療センター院長

## 新年のご挨拶

謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、晴れやかなお気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。通院・入院中の患者さんにおかれましては、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。本年も職員一丸となり、安全で質の高い医療の提供に向けてたゆまぬ努力を続けますので、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス・パンデミックも3年が過ぎようとしています。名古屋医療センターでは、昨年も積極的に新型コロナウイルス感染者を受け入れる一方で、一般救急患者さんの受け入れ数もパンデミック前に戻りつつあります。本年も変わることなく、急性期医療での役割を果たしながら地域医療に貢献してゆきます。

さて、世界のニュースを見ていると誰もマスクをしていません。ウクライナ戦争でもマスクをした兵士どころか、新型コロナウイルス感染症の戦争への影響は全く報道の話題にならず、諸外国ではまるで「コロナ・パンデミックは過去の話」のように、新型コロナウイルスとの共存が日常となっています。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律も見直し

が進められ、本年はいよいよポスト・パンデミックの段階に移行する予感がしています。しかし、パンデミックは必ず再来しますので、これまでの経験が無駄にしないように感染対策には引き続き努力をしてゆきます。

名古屋医療センターでは、昨年度に「脊椎・脊髄センター」、「人工関節センター」、「血液浄化センター」を新たに設置しました。脊椎・脊髄センターでは、腰痛症をはじめとする脊椎疾患の専門家を配置し、安全で質の高い医療提供に向けて診療を開始しています。また、人工関節センターでは、ロボット手術による精度の高い治療を提供できる環境を準備しています。血液浄化センターでは、新しい人工透析室を設置し、腹膜透析をふくめ外来診療から入院診療を一元的に診療できる体制となりました。このように、地域の皆様に信頼される安全で質の高い医療の実現に向けて整備を進めています。

名古屋医療センターは社会から求められる役割をしっかりと果たし、地域医療と健康の維持・増進に貢献したいと考えています。皆様のご健勝を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



# ドクター よもやま話



山家由子  
糖尿病・内分泌内科医長

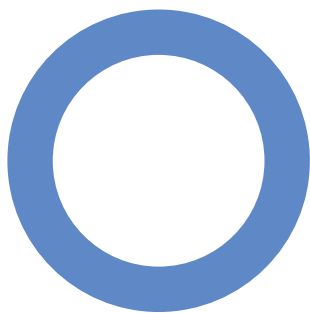
## ブルーサークルとバタフライリボン

皆さまはブルーサークルをご存知でしょうか。ブルーサークルは、国際連合が決議し国際糖尿病連合が推進する「糖尿病との戦いのために団結せよ」キャンペーンのシンボルマークです。私の感想では非常にシンプルな青い円なのですがなぜ青なのかと言いますと、国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」、そして団結を表す「輪」を表しているそうです。

同様なシンボルマークとして乳がん予防と早期発見を目指すピンクリボンが有名ですがピンク以外にもレッド、イエロー、グリーン、オレンジなどのいろいろなリボン運動があるようです。甲状腺学会のマークもリボンなのですがこちらはバタフライリボンです。甲状腺は首にあります蝶に似た形の臓器なので学会誌でも青い蝶の写真が使われることがありバタフライになったと思われます。女性の患者様が多いためカラーはピンクです。

一年に1日の病気を抑制しようという日もあります。世界糖尿病デーは2006年に国連がインスリンを発見したフリードリヒ・バンティング先生の誕生日である11月14日を指定し世界糖尿病デーと決めました。世界糖尿病デーは、全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンの推進をする日となっています。一方、甲状腺は5月25日が「世界甲状腺デー」とされています。525が蝶の形に見えるからでしょうか。2008年に欧州甲状腺学会が「甲状腺の健康、甲状腺疾患治療の進歩の認識と理解を促進するための日」として制定しました。

多くの医学分野でこうしたマークは作られており大変興味深いと思いますし、病気にならない、病気に負けない取り組みを表すシンボルマークは日々の生活の中で患者様、医療従事者を勇気づけ心をひとつにする役割を果たしていくと思います。



ブルーサークル



ブルーサークルバッジ





## 東7階病棟

東7階病棟は消化器内科、泌尿器科、皮膚科、腫瘍内科を主科とした混合病棟です。手術療法をはじめ内視鏡検査・治療、がん化学療法や放射線治療など急性期の治療から、慢性期の症状コントロールや生活指導などを行っています。入院患者さんの年齢層も幅広く、様々な患者さんの状態に応じた看護を提供しています。

苦痛の緩和や心理的サポートが必要な患者さんには緩和ケアチームが、栄養状態が悪化している患者さんには栄養サポートチームが介入するなど、患者さん個々の治療に対する思いや希望を大切にできるように入院時から多職種で介入できる体制を整えています。

また、入院中だけでなく、退院後も安心して生活が送れるように家族を含めたサポートができる体制も充実させていますので、心配なことや不安なことがあれば遠慮なくご相談ください。



## 臨床検査科

### ～ISO15189 第2回更新審査(再審査)を終えて～

令和4年8月30日に日本適合性協会 ISO15189の更新審査を受審し、11月14日に認定会議が行なわれた結果、認定の更新が認められました。ISO15189は臨床検査室の品質が一定の水準を満たしていることを第三者機関が審査し認められます。いわゆる臨床検査の検査結果は臨床検査技師が機器や試薬を用いて測定した値を報告しますが、その値が常時、どの臨床検査技師が実施しても正しく報告されるかの過程や判断を認定機関に委ね、保証を得るものです。

例えば一流ホテルのシェフが作るケーキが評判となり行列ができる場合、なぜおいしいケーキと言えるのでしょうか。そこにはシェフの技術・経験、ケーキの材料の吟味、オーブンやミキサーなどの道具の良し悪し、ケーキ作りのマニュアルなどが揃い、いつでも同じ味と素材の良さ、工夫や満足度、ケーキの新作への期待などがあるからだと思います。

ISO15189が求める検査データの質も美味しいケーキ作りと同じで、患者さんの病状に即した正しい値をいつも精密・正確に測定し報告するための仕組みが備わっている保証となります。患者さんにとってデータの質の良し悪しは分かりにくく、何処で測定しても同じ結果が報告されていると思われていますが、こうした取り組みを他の認定機関で定期的に評価してもらい、誰がいつ測定しても同じ値になる仕組みが保証され維持しているのです。

治験のデータによってはその薬が承認されるか、されないかの判断評価に副作用の有無の程度があり、その値は治験薬の評価としてデータにばらつきがあってはなりません。「真値」は誰にもわかりませんが、その値に近づくために検査室全体が規格の要求事項の完遂に取り組み、日々、改善活動が行なわれています。

あのケーキが食べたい、あそこのシェフの作るケーキはとても美味しいと評判になることと同じように、病院の評判・質・良い医療の提供に検査データの正確性は欠かせません。全国の病院の中でこの認定を有する施設は大学病院を含め、まだ280施設程度です。

これからも利用者の皆様に良い医療を提供するために臨床検査科は良いデータを提供する取り組みを続けてゆきます。



## 災害訓練を実施しました

| 災害対策室長 吉野 能 |

当院は災害拠点病院に指定されており、例年10月に「災害訓練（多数傷病者受け入れ訓練）」を行っています。本年は名古屋学芸大学看護学部のご協力を得て、3年ぶりに多数傷病者受け入れを想定した訓練を、令和4年10月27（木）14時から16時まで、当院5階講堂、特別会議室を会場として行いました。事前に災害対策小委員会メンバー、DMAT隊員を中心に、訓練シナリオの策定、資器材の準備などが綿密に行われ、訓練当日は看護師55名、事務職員28名、検査技師、薬剤師、理学療法士などコメディカル部門26名、その他を含め合計136名と多数の参加がありました。特に医師は28名と昨年よりもさらに参加者が増え、災害医療の frontline で活躍が期待される若手医師の災害医療への関心が高まることは、拠点病院機能をますます強化することに繋がっていきます。

本年の訓練の要点を以下に記載いたします。

(1) 災害対策本部設置、職員登録、参加職員の各エリアへの配置を行いました。(2) EMIS入力、トランシーバー、PHSなど通信手段を用いた情報伝達の訓練を行いました。(3) 多

数傷病者受け入れについては93名の学生ボランティアに傷病者役を演じてもらい、実践に近い形での収容、治療、搬送までの一連の訓練を行いました。(4) 停電および電子カルテシステム障害を想定し、紙媒体での記録・情報伝達・保管の訓練を行いました。

一昨年は机上シミュレーション訓練、昨年は模擬患者カードを用いた訓練と2年連続で縮小開催となりましたが、本年はボランティア傷病者により実践に近い訓練となりました。今回気づいた反省点、改善点をマニュアル改定、BCP改定に繋げて、今後も引き続き実際の災害時に生かせるよう訓練を継続していきたいと考えています。





# 医療最前線



伊藤 真史

脳神経外科医師

## 「血管の内側」から病気を治す治療法

当科では、「脳血管内治療」を積極的に取り入れて患者さんの治療を行っております。手足の血管からカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、脳や脊髄の血管の病気を、切らずに治す治療法です。通常の頭を開ける開頭手術と比較し皮膚の切開が不要であるため、傷跡もほとんど残らず負担が少ない治療です。そのため脳血管内治療は心臓や末梢血管の血管内治療と同様に、年々治療症例数が増加しています。以下が対象となる主な病気と治療方法です。

### 1. 「脳動脈瘤」に対する「コイル塞栓術」

脳動脈瘤は脳の血管の一部がこぶ（瘤）状に拡張したものです。これが破裂すると「くも膜下出血」を引き起こし、非常に危険な状態に陥ります。脳動脈瘤からの出血を予防するために、血管の中から脳動脈瘤の中にプラチナ製のコイルを詰めこんで出血を予防する「脳動脈瘤コイル塞栓術」を行います。

### 2. 「内頸動脈狭窄症」に対する「ステント留置術」

頸動脈は動脈硬化によるプラークが形成されやすく、進行すると突然詰まったり、プラーク

や血栓が飛散したりして、脳梗塞の原因となることがあります。基本的な治療は薬による治療ですが、狭窄が高度な場合は外科的な治療が必要になります。「ステント留置術」では狭くなった頸動脈をバルーン（風船）やステント（金属のメッシュ状の筒）で拡張させ、脳への血流を改善させる治療です。

### 3. 「脳梗塞」に対する「脳血栓回収療法」

脳梗塞は、動脈硬化や不整脈などが原因の血栓により脳の血管が詰まることで起きる場合があります。突然に起こる片側の手足や顔面の麻痺・しびれ、呂律困難などがみられ、重症になると意識がなくなってしまいます。発症してすぐの場合、近年はその血栓を取り除く血栓回収療法が可能となりました。血栓回収療法は、脳動脈の閉塞部分にカテーテルを持っていき、詰まった血栓を取り除いて血流を再開通させる方法です。これにより、従来では寝たきりになってしまうような症状の重い患者さんでも、治療直後から症状が劇的に改善し自立して自宅に戻れることがあり、急速にこの治療法が広がっています。



当院の血管造影室



### 悠々整形在宅クリニック

訪問診療(在宅療養支援診療所)



院長  
風間悠介

白衣を着れば超人に、ガウンを纏えば職人に。

手術を生業とし8年間勤務医として働いていた私ですが、2022年9月1日、金山に整形外科領域を強みとする在宅診療所『悠々整形在宅クリニック』を開業させて頂きました。院長の風間悠介と申します。

腰痛、膝関節痛、腰椎圧迫骨折後、脊柱管狭窄症、大腿骨頸部骨折後、下肢切断術後などで通院困難な患者様に整形外科医からの在宅診療を提供させて頂きます。

自宅で膝・肩関節注射やトリガーポイント注射、腰椎ブロック注射、骨粗鬆症治療を受けることができます。

名古屋市全域に訪問可能であり、内科疾患のみの患者様の診療も可能です。専門領域の垣根を超え、皆様に安心感と満足を与えられたら幸いです。

今後とも、御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

いつまでも、悠々自適な毎日を。



院長：風間悠介 副院長：風間有香

### 悠々整形在宅クリニック

院長：風間悠介

診療科：整形外科・内科・訪問診療

診療時間：月～金(9:00～18:00)

《緊急往診24時間対応》

所在地：〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目11-2  
メイプル金山305号

Tel：052-990-2013

Fax：052-990-2014

Mail：yuyuzaitaku@gmail.com

LINE ID：yuyuzaitaku

URL：https://yuyu-homeclinic.com

# 外来診療担当表

令和5年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
受付A	消化器内科	1診	平嶋	平嶋	島田	島田	恒川
		2診	齋藤	齋藤	近藤高	浦田	宇仁田
		3診	浦田	近藤高	近藤高	藤田(1・3・5週) 田中(2・4週)	交代制(初診)
		4診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
	呼吸器内科	4診					瀧川
		5診	佐野	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	石井 (初診)	沖
		6診	鳥居厚(午前) 小暮啓(午後)	山田有(午前) 篠原(午後)	小暮啓/ 瀧川(初診)	北川	小暮啓(午前) 丹羽英(午後)
		7診	沖/ 篠原(初診)	丹羽英/ 佐野(初診)	丹羽英	椎葉	山田有/ 鳥居厚(初診)
受付B	循環器内科	8診			ベースメーカー (2・4週)	ベースメーカー (1・3週)	
		9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	西山
		10診	今井	上村	山下	富田	宮原
	糖尿病・ 内分泌内科	11診	交代制	早川	山田高	山田高	森
		12診				フツケア (2週・午後)	
		13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)
受付C	膠原病内科 リウマチ科	14診	丹羽靖 (初診・再診)	丹羽靖 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	杉浦 (初診・再診)
		15診	杉浦 (初診・再診)	山田努 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	山田努 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)
	腎臓内科	8診				水谷有 (初診)	杉山剛(初診) (1・3週・午後以外)
		12診	小嶋 (初診)	長谷川貴 (初診)	大島 (初診)	予約のみ (3週・午後)	杉山剛(初診) (1・3週・午後)
受付D	脳神経内科	17診	片山(午前) 高野(午後)	杉山剛(午前) 高野(午後)	梅村(午前) 平野(午後)	大島	片山(代診)(午前) 小嶋(午後)
		18・19診	長谷川貴 (午後)⑨		高野⑩・ 水谷有⑨		長谷川貴⑨・ 梅村⑩
	総合内科	18診	交代制(初診) 松本(午後・再診)	交代制(初診)	—	交代制(初診) 峰矢(午後・再診)	竹内(午前・再診) ※総合内科診察室にて
		19診	浅野 (午後・再診)	中村(午前・再診) 三林(午後・再診)	—	龍華(午前・再診) 臨時再診(午後)	—
		20診	小林	瀧田	梶田橋	原田	竹中宏
受付E	総合内科	21診		伊藤洋		龍見	
		22診	梶田橋(初診)	竹中宏(初診)	龍見(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)
		25診	脳波・かんセンター (岡田)	岡田	脳波・かんセンター (小林)	岡田	睡眠センター (予約のみ)(岡田)
		林雅(午前) 濱田 (午後・予約のみ)	—	当番制 (午前・1・3週)	林雅 (午後)	丹羽梓 (午前)	
		23診		—	濱田(午前) 丹羽梓 (午後・予約のみ)	濱田 (午後)	
		24診	丹羽梓 (午後・予約のみ)	—	—	—	

※総合内科の新規予約は受付不可。

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	杉山(再診)	白石(再診)	北川(再診)	杉山(再診)	白石(再診)
	2診		小暮啓/船橋		佐藤真(再診)	
	初診	白石・北川	佐藤真・杉山	杉山・白石	白石	杉山・佐藤真

禁煙外来(2階)	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)
----------	-------	---	------------------	---	---	------------------

緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②・ 岡本/西堀①	船橋①	船橋① 近藤建 (外科外来)	稲田②・ 岡本/西堀①	岡本/西堀①
----------------	-------	----------------	-----	----------------------	----------------	--------

内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山 近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/恒川/ 藤田	島田(当番制)/ 村山/近藤高/ 浦田/宇仁田/ 恒川/藤田	平嶋/村山/ 齋藤/浦田/ 宇仁田/恒川/ 日比野/藤田	近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/齋藤/ 恒川/藤田	島田/平嶋 (当番制)/ 村山/齋藤/ 浦田/近藤高/ 近藤高/藤田
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—

精神科(2階)	再診	—	宮本	—	宮本	宮本
---------	----	---	----	---	----	----

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	後藤峻	交代制	須崎
	2診	高橋立	後藤峻	江口		伊藤真
	3診	安藤遼		川口		梶田泰

外科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	服部正 (消化器)	加藤彩 (乳腺)	未永 (一般・肝胆臓)	多代 (一般・肝胆臓)
	2診	亀井 (形成2・4週・午後)	伊藤可 (一般・消化器)	近藤建 (一般・消化器)	林孝・加藤彩 (乳腺)	林孝 (乳腺)
	3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	田嶋 (一般・消化器)	山家豊 (一般・消化器)	加藤公 (一般・消化器)
	4診	森田 (乳腺・午後・再診)	児玉 (末梢血管 4週以外・午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)
	5診	山田剛(3週以外)		竹田伸 (一般・消化器)	森田(乳腺)	
特別診察室						

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。※形成外科(13:30~15:30)

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時

◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

診療科	月	火	水	木	金	
整形外科 (1階)	1診	森	家崎	高橋伸	平良	生田
	2診	高橋伸	生田	浅井(人工関節)	森(人工関節)	平良
	3診	—	浅井(リウマチ)	家崎	—	風間(2・4週)
	4診	佐藤(人工関節)	服部(リウマチ)	佐藤(リウマチ)	小嶋(リウマチ)	服部(リウマチ)
	5診	服部(人工関節)		金子(リウマチ)	金子(人工関節)	金子(リウマチ)
	6診			森(リウマチ)		小嶋(リウマチ)

皮膚科 (3階)	1診	多湖	清水	清水	清水	—
	2診	池谷	代診	代診	大野	代診
	3診	日高	日高	多湖	日高	多湖
	4診	—	池谷	—	倉橋	池谷

小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	田中 (初診・一般)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)			
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)
		4診	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)
	午後	1診	交代制 (一般)	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児外科)月2回 交代制(一般)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウンセリング)	竹中純 (神経)	田中 (アレルギー)		菊井/後藤雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)		前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)	
		4診	後藤雅 (予防接種) 木村 (内分泌)月2回	後藤雅 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)

遺伝(2階)	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合
診療科	遺伝(3階) カウンセリング	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	—

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。※カウンセリング予約枠:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診 (初診)	加藤健・中田	寺西・降旗	森永・神本	竹内2名・神本	加藤健・降旗
	2診	森永・降旗	森永・神本	加藤健	中田 横井 (再診13:30-15:30)	中田
	3診	寺西・神本	竹内佑	竹内佑	加藤健	寺西・神本 (1・3・5週) 森永・神本 (2・4週)
	めまい・耳鳴り・難聴		中田(めまい) 加藤(耳鳴・難聴)			

眼科 (3階)	1診 (初診)	小口(1・3・5週) 鶴田(2・4週)	伊藤和(1・3・5週) 服部友(2・4週)	近澤	高士	
	2診	鶴田(1・3・5週) 小口(2・4週)	高士	伊藤和		
	3診	中村(1・3・5週)				
	4診		廣瀬		廣瀬	手術日
	5診	服部友(1・3・5週) 近澤(2・4週) 鳥居(午後)	近澤 (1・3・5週)	鳥居良	服部友	
	6診	吉田統		久保田	久保田	

産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西
	2診	稲葉	鈴木一	稲葉	交代制	吉田沙

※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産婦1ヶ月健診は、金曜日に行います。

泌尿器科 (3階)	初診	鈴木晶	交代制	平林	土井	吉野
	再診	吉野	土井	鈴木晶	伊藤	岩間
	再診	鈴木知	—	岡村		平林

血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	足立
	2診	足立	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	安田	平野志	小暮あ	平野大希	小暮あ
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)	

※LTFU:造血幹細胞移植後外来

専門外来 (3階)	1診	笠原(4週以外) 伊藤公(4週)	小暮あ (12:00まで)	今橋真 (14:00まで)	横幕・松下 (3週・午後)	横幕/ 渡辺(1週)
	3診	小暮あ (14:00まで)	林(12:00まで) 神田(午後)	笠原 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋真

歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	渋谷	小田	交代制	成田
	再診	渋谷	小田	渋谷	交代制	小田
	再診	小田	上嶋	上嶋		渋谷
	再診	成田	宇佐美	宇佐美		上嶋
	再診		成田			宇佐美

放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
		加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	放射線 (1階)	X線TV5	午前		消化器	呼吸器	消化器
		X線TV6	午後	耳鼻いんこう科(嚥下)		耳鼻いんこう科(嚥下)	
		RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
		超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検/ 森田)	遠藤・須田 (乳腺)	—
検診	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田		

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター